

神主の祈禱に関する文書を読む 解答

史料1 「疫癘流行ニ付御祈禱願書状」

〔西角井家文書一六九七〕

然者此程方村中疫癘

流行仕悉難洩仕候ニ付

当村於鎮守社御祈

禱修行仕度奉存候ニ付

遠方御苦勞なから何卒

御光領被成下候様奉願上候

右御承引ニおゐて者何日

御出張ニ相成候哉日限被

仰下度且御供御同勢

上下御何人様ニ御座候哉

員数被仰聞度奉願上候

右之段御願申上度委細者

此もの江申含候間可申上候

恐謹言

二月六日

河野藤次郎

河野權兵衛

角 出雲守様

尊下

猶以御光来之節者權兵衛

宅江被為入可被下様奉願上候

以上

史料2 文久二年（一八六二）四月二十四日

差出シ申一札之事（祈禱預退散証文）

〔西角井家文書一六九二〕

差出シ申一札之事

一私義此家二年來相拘申候処

此度御祈禱ニ預リ急度退散

仕候此急度立戻申間敷候

為念一札見出し申候如件

文久貳年

戌四月

廿四日

けだもの（爪印）

大宮宿

御神主様